

だれでも幸せになれる教えです!!

ひかり

2017年

5月

141号



宗教法人 真生会

平成二十九年信仰目標

衆善奉行
しゅうぜんぎょう

(たくさん善いことをする)

徳の器を大きくする

真生会の教えとは！

仏さまの智慧と

仏さまのものの見方を身に付け

自分の運命を変える

在家の法華経教団です。

宗旨宗派は問いません。

どなたでも安心してお越し下さい。

◇どの家庭も毎日が楽しく

ぬくもりと安心のある家庭になる

◇だれでも毎日がイキイキとし

ありのままに輝く自分になれる

◇幸福の五ヶ条

- 一、素直な心：（おかげさま）
- 二、誠の心：（まず人さま）
- 三、明るいい心：（きっとよくなる）
- 四、尊ぶ心：（仏性を拝む）
- 五、信じる心：（人みな仏の子）

立教祭ご真教法話

会長 田た中なか庸つね仁ひと

◇真生会の成り立ち

真生会開教三十八周年立教祭、おめでとうございます。

真生会は昭和五十四年四月十五日、開祖さま教母さまの大きな願いとお導きにより大阪の地において開教されました。

開祖さまは二十五才の時、不治の病と恐れられた結核がご縁で栗山法明先生に出会われ、法華経の教えにより奇跡の回復をされ、以来二十三年間第一の師匠栗山法明先生のもと、自らの因縁の切り替えと妙法広宣流布による人心救済に血のにじむような壮烈なご修行をされました。

教母さまは、二十二歳の時同じ師匠栗山法明先生の一言で開祖さまのもとに嫁がれました。五月一日にお話があり、五月二十四日に嫁がれるという電撃結婚でした。「田中家へ嫁いでも一年後には店は倒産しますよ。田中さんは病み上がりであるが、将来見込みのある青年です。あなたが嫁いで夫を支え、田中家の経済を立て直すのです」という師匠の特命を受けての結婚だったそうです。

昭和四十八年第一の師、栗山法明先生亡き後、師匠の師匠である第二の師、柴垣法隆先生に師事され、更なるご法流布に精進されたのです。そして、昭和五十三年柴垣先生から、「田中先生、今日までよく忍んで来られました。時は来ました。独立して自由自在に思い切つて法華経を説き広め、人心救済をして下さい」とのご指導により真生会は開教されたのです。

開祖さまも教母さまも、師匠のご指導と法華経の教えを「はい」の一言で素直に受けられたのです。帰依僧、帰依法のまさに三宝帰依のご修行だったので、真生会の会員である私たちは、開祖さまの歩まれた生き方の真似をさせて頂けばいいのです。真似とは真に似ると書きますから、知らぬ間に本物の法華経行者になり、安心立命の人生が渡れるようになるのです。法華経信仰の結果現象の出るコツは「素直さ」です。寿量品じゅうりょうほんに「質直意柔軟しちじきい にゅうなん、一心欲見仏いっしんよくけんぶつ、不ふ自惜身命じしやくしんみんみょう」とあります。

質直意柔軟とは「はい」という素直さと変化に応じて「自分を変えていく柔らかさ」です。法華経が解るようになるには、素直さと柔軟さが大切です。つまり自分の「我」をどれだけ無くせるかということなのです。

一心欲見仏とは「仏さまのようになろう、開祖さま教母さまのようになりたい」という「求道の心」です。

不ぞ惜身命とは「途中であきらめないで結果が出るまで本気で精進する」ということです。そうすれば、仏さまがお弟子を伴って現実の世界に仏さまの方から現れて下さると経典に書いてあります。本当にありがたいことです。心が素直で柔軟な人は教えがよく解り、まっすぐに幸せになれるのです。

◇立教四十周年に向けて

真生会はあと二年で開教四十年の節目を迎えます。四十才を「不惑の年」と言います。「人間、四十才になったら惑わず人生を歩め」という諺です。四十才といえはある程度の人生経験も積み、社会的信頼もでき、まだ若さも勢いもあり、人生で最も充実し活躍できる年代です。だから、自分の仕事や理想に向かつて迷わず惑わず自信と信念を持って進む時なのです。

しかし、自分先生が怖いのです。自信と慢心、信念と頑固とは紙一重です。「知っています。わかっています。やっています」という慢心、増上慢こそが、信仰の強敵であり、幸せを遠くしているのです。みなさん、真生会の教えにご縁を

頂いた日を思い出してください。きつと誰もが開祖さまを信じ、すがり、どんなご指導も素直に受けて「はい、わかりました。やってみます」と素直に精進されたから今日があるのではないですか。もう一度入信の原点に戻って素直になつて頂きたいのです。

そこで、真生会の四十周年に向かって二つの目標を掲げ、皆さんと共に法華経の教えに自信を持ち、迷わず惑わず進んでまいりたいと願っています。

◇導きの功德は無量大

第一の目標は「一人が三人お導きしよう」という目標です。

今、世界は混沌としています。アメリカも中国もロシアも北朝鮮もシリアも一触即発の状態です。日本も対岸の火事、他国のことではなくなりつゝあります。国同士の関係は「国益と国益」のぶつかり合い、「まず自分の国の利益」です。だから戦争が起こるのです。

しかし、法華経は違います。「まずは人様の幸せ」です。天と地ほどの違いです。今こそ私たちが足元の家庭から教えを伝え、親戚、友人、地域社会にしっかりと法華経の教えを伝えなければ、世界は戦争の方向に進んで行ってしまいます。

開祖さまが立教された願いは、「この尊い法華経を全国津々浦々、世界の隅々にまで広げて、地上天国真生楽園という仏国土を作りたい。そして、すべての悩み苦しむ人を救いたい。すべての人が人格を磨き、人格を完成させ、すべての人に即身成仏を実現したい。」という大誓願です。だから、おたすきに「一天四海 皆帰妙法」「教菩薩法 仏所護念」と書いてあるのです。

今年の信仰目標に『衆善奉行 しゅうぜんぶぎょう 徳の器を大きくする』と掲げました。「徳の器を大きくして、幸せになりましょう。それにはたくさん善い行いをしましう」ということです。善い行いとは、親切やボランティアなどいろいろありますが、本当の善行とは、この妙法の教えを人に伝え、教えにお誘いの声掛けをし、お導きをすることなのです。

開祖さまの開教の精神に立ち返り、一人が三人の方をお導きしましょう。生涯法を離れることのない人を三人お導きした功德は、上七代下七代の悪因縁から救われると開祖さまは教えられました。単純に計算して上七代で二五六人のご先祖があります。下七代も子供が二人ずつ生まれたとして二五六人の子孫となります。合計五一二人の運命が救われるのです。

どうぞ、来年の立教祭に本日お参りの皆さんが、ひとりが一人をお誘いしてご参加ください。これこそが仏恩、開祖さまのご恩に報いる最大の善行です。

そこで、人様をお導きするには、法華経を信仰する私たち自身が開祖さまのように「笑顔で楽しく」教えと生活のお役を果たしていなくては、人は信じて付いて来てくれません。それには自信と勇気が必要です。自信が無くては笑顔になれません。勇気がなくては楽しくなれません。それにはまず「毎日お経をあげることが心の基礎体力作り」です。次に徳積みのお施の実践です。布施ができてこそ教えが深くなるのです。特に法施の布施行が最高です。

八十四才になるご信者さんで最近身辺整理をし始めたというご婦人があり、「先生、残す物と捨てる物の踏ん切りがつきません」とのことでした。私は申上げました。「お年を取られて身辺整理をされたり、葬式代を残されたりする方もありますが、本当の身辺整理とは、開祖さまが『私は死ぬまで生きる』と申され、亡くなるその日までご信者さんにお会いになり法を伝えられたように最後まで自分らしく生きること、そして、この尊い教えを子孫に残し伝えることが本当の身辺整理ですよ。」自分一代限りの法華経信仰で終わってはいけま

せん。開祖さまが最後の最後まで法を説き続けて下さったからこそ、今日の真生会があり、私たちがいるのです。

この法華経は「下種げしゆの大法」といって法の種を蒔く教えなのです。仏弟子から仏の子であるという自覚に立ちましょう。自分が伝えなかつたら誰が伝えるのか！という自覚を持ちましょう。みなさん、家族や子供や孫、親戚や友人にこの百千万劫ひやくせんまんごうにも会い難き尊い法華経をしっかりと伝え、法燈継承ほうとうけいしよを共に誓いましょう。

◇報恩の人生は栄える

第二の目標は「開祖さま教母さまのご墓所を建立しよう」ということです。

「報恩の人生は栄え、忘恩の人生は滅ぶ」これが真理です。開教四十年を契機に開祖さま教母さまのご墓所を総本山真生寺の境内地に造営し、いつでも開祖さま教母さまのお徳にふれ、報恩のお参りをさせて頂ける癒しと救いの霊地を建立したいのです。開祖さま教母さまのご恩に報いるためにも二年かけて計画をしっかりと練って、会員皆様の総意をもって建立したいと思えます。みなさまの真心のご協力をお願いし、立教記念のご真教とさせて頂きます。

今月の運勢（6月）

（2017年6月5日～7月6日）

一 白水星

多くの人々に親しまれ助けられて吉となる。相手と心が通じ合えば何事もうまく行く。タイミングを外さないように相手と手をつなぎ流れに乗ること。日和見主義の人とは距離を置くこと。

二 黒土星

ようやく先に光が見えてきた。根気よく光を広げていくことが大切。離れ離れになっていた友達が集まって来る。一陽来復、凶だったことも吉に戻り、何事もうまく行く。積極的に行動するとよい。

三 碧木星

風に乗って遠くまで活躍できる。動機が正しく。持続性一貫性をもって行動すること。

互いの立場と役割を自覚してパートナーと長所を生かし合うこと。

四 緑木星

先月思いのままに活躍した四緑は少し羽を休めて落ち着きを取り戻そう。大きな動きは控え、はやる気持ちを抑えて周囲を見渡してみることも大切。エネルギーを蓄える時。

五 黄土星

充実の時を迎えた。新しいことを始めることより、ここ数か月頑

張ってきたことを完成させよう。何事もスピーディーに進めれば吉となる。上位者の意見に耳を傾けるとよい

六 白金星

どんな剛強な相手にも力に対応してはいけない。柔よく剛を制する。邪心のない悦びが強いものを抑え、無類の強さを発揮することになる。相手を信頼し楽しい雰囲気を作り出そう

七 赤金星

変化の時である。何事を為すにも動機が正しければ必ず通る。無私無私を心がけ、無心で行えば人は感動し付いて来てくれる。何事に

もまず自分自身が感謝、感動、感激をもつて望むよう。

八 白土星

太陽に照らされて身も心も輝き躍動する。アイデアもエネルギーも湧き出てくるが、大きなことを為す時ではない。小さなことを行うには良い。怒りや争い事は慎むこと。

九 紫火星

今は未完成のように思えるが、未完成こそ未来に希望がある。あと一步の所まで来ているので、諦めず進むことが大切。一筋の光明を目指して粘り強く進めば願い事は通る。

しあわせ眼鏡

素材を活かす
早く育つ木は木目が粗く
じっくり育った木は木目が
細かい
どちらでも使う場所次第で活
きてくる
目に見える表に現れた姿に
とらわれず
内に秘めた良さを活かす
人生は効率ではない
ゆっくり育つ人、早く育つ
人、どちらも必要である

お気軽にご連絡ご相談下さい

- | | |
|---------------------|--|
| 【総本山真生寺】 〒 501-1105 | 岐阜市彦坂 178 番地
TEL 058 - 235 - 7304 |
| 【所沢教会】 〒 359-0037 | 所沢市くすのき台 1-9-5
TEL 04 - 2992 - 8236 |
| 【名古屋教会】 〒 454-0808 | 名古屋市中川区九重町 3-10
TEL 052 - 351 - 3904 |
| 【岐阜教会】 〒 500-8882 | 岐阜市西野町 3-19
TEL 058 - 262 - 9615 |
| 【大阪教会】 〒 532-0028 | 大阪市淀川区十三元今里 3-4-10
TEL 06 - 6308 - 5637 |

上記の教会にお申込み下さい。必要な冊数を毎月お送り
します。詳しくはお尋ねください。